

1 議題 「学級が楽しくなる係活動を考えよう」

2 児童の実態と議題設定の理由

本学級は、「きょう力 あかるい いじめのない がんばる あいさつ るールを守るハッピーなクラス」を目指して生活している。係活動では、児童や係によってその取組に差があるものの、友達同士で声を掛け合いながら行っている。また、決めたことをしっかりやり遂げようとするにはできるようになってきたが、創意工夫して生活を楽しくしたり、豊かにしたりしようという活動には至っていない。係活動について振り返ることで、2学期の残りの時期と3学期に向けてさらに創意工夫のある活動にしていくことで、自分たちの学級がより楽しくなることに気付いてほしいと願い、この議題を設定した。まず、現在の活動内容は1学期の延長であり、当番的な活動が主になっていることに気付かせたい。それを踏まえて、学級のために自分の係ができることを探し、創意工夫のある活動を通して生活を楽しく豊かなものにしようとする意欲的に取り組む活動内容を話し合わせたい。

1学期には、議題ボックスを設置するとともに、すべての児童が計画委員を経験できるように、輪番で担当させた。2学期からは計画委員会が話し合いの活動計画を立て、児童が主体となって活動してきたことから、事前に自分の意見をしっかりともち、理由を明確にして発表することができる児童が多くなった。

3 評価規準と目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	学級の生活上の問題に関心をもち他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活を送るために話し合い、自己の役割や集団としてよりよい方法について考え、判断し、協力して実践している。	みんなで楽しい学級生活を送ることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の進め方について理解している。
目指す児童の姿	学級会に向けて自主的に計画を立て、めあてに沿った話し合いができるようにしている。話し合いの際には「出し合う→くらべ合う→まとめる(決める)」の流れを意識して各係の振り返り、意見をまとめようとしている。 意見を出す児童は、自分の考えと友達の意見を比べ合いながら聞き、自分と違う意見でも尊重しようとする。また、話し合いのめあてに沿った意見を考えている。話し合いで決まったことを意識しながら今後の係活動に生かそうとする。		

4 活動と指導の見通し

	活動内容	いつ	指導・支援	目指す児童の姿と評価方法
話し合いの準備	・計画委員会をもち、今回話し合うことを考える。	朝自習の時間	・今までの活動を振り返り学級が楽しくなる係活動を考えるように話す。	・学級会に向けて進んで準備しようとする。 (関心・意欲・態度) [観察・ノート]
	・全員が議題や提案理由を知り、各自が活動を振り返り意見をもつ。	朝自習の時間	・係活動をよりよい係にするための改善点や継続すべき点を考えておくよう話す。	・提案理由や議題を理解し、学級会への意欲と見通しをもとうとする。 (関心・意欲・態度) [観察]
	・話し合いの柱や順番などを決め、活動計画を作成する。	休み時間	・今までの活動内容と今後の改善点を係毎にまとめておくよう話す。	・自分の意見を持ち、学級会ノートに自分の意見を書いている。 (思考・判断・実践) [学級会ノート]

話し合い 1	学級が楽しくなる係活動を考えよう (1/2時間)	学級活動	・係毎に今までの活動の振り返りを行い、自己評価をするように話す。	・当番活動的な内容と創意工夫のある活動の違いに気付く。 (思考・判断)〔観察〕
話し合い 2	学級が楽しくなる係活動を考えよう (2/2時間)	学級活動	本時の展開を参照	
実行	・話し合いで決まったことを意識して目標を達成しようと実行する。	休み時間	・協力して活動している様子を紹介し、全員で目標を達成できるよう促す。	・話し合いで決定したことを意識しよりよい係活動にしようとしている。 (思考・判断・実践)〔観察〕
振り返り	・2学期までの係活動を振り返り、話し合い後に改善できたことや反省点について話し合い3学期の係活動に生かす。	学級活動	・2学期までの係活動を振り返り、児童の成長した点を明確にし、3学期での係活動に生かせるように励ます。	・自他の頑張りや問題について考え、次に生かす点を明らかにしている。 (思考・判断・実践)〔観察・学級会ノート〕

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

○係活動を学級にとってよりよいものにしようと考えることができる。

○友達の意見をよく聞き、自分の考えと比べながらよいところを取り入れて発表することができる。

○話し合いの進め方やまとめ方を理解することができる。

(2) 児童の活動計画 (略)

(3) 指導上の留意事項

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 はじめの言葉	・机をコの字型にして話し合いがしやすいようにする。	
2 計画委員会の紹介		
3 議題・めあての確認		
4 提案理由の確認	・めあてを全員で確認し、めあてにそって話し合いができるようにする。	・友達の意見を聞くとともに、自分の意見を考えて発表している。 (関心・意欲・態度)〔観察〕
5 話し合い	・学級が楽しくなる係活動にするにはどのような活動が必要かを考えるようにする。	・様々な意見を踏まえて創意工夫のある活動を考えている。 (思考・判断)〔観察〕
○ どんな係があるとよいか	・様々な意見を取り入れ学級のために創意工夫のある活動内容を考えるようにする。	
○ どのような工夫があるか	・話し合いの方向がそれてしまった場合、計画委員に話し合いの議題や提案理由、めあてなどを確認するように声をかける。	・話し合いの進め方やまとめ方を理解している。 (知識・理解)〔観察〕
6 決まったことの発表		
7 先生の話	・今まで学級のために準備をがんばった計画委員の児童を称賛したり、前回の話し合い活動より成長した点を述べたりし、次回の話し合いに向け参加意欲が高まるように話をする。	
8 おわりの言葉		

6 事後指導

・話し合いで決めた活動内容を実践できるように、準備や修正を協力して行うよう声をかける。

・帰りの会で児童の工夫の様子を紹介し、互いに認め合えるような場を設ける。